

# 夢中熱中青春ライフ!

## 7回シリーズ

### 大館ジュニアクラブ (トランポリン)

12

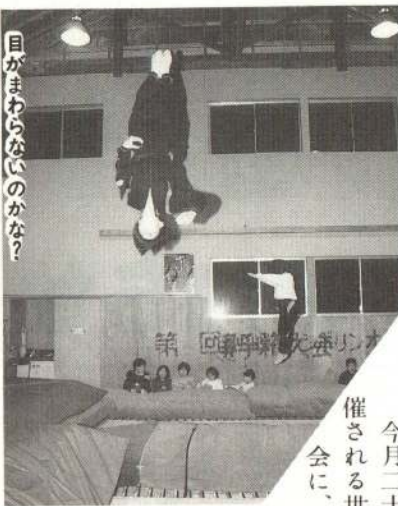
宙に舞い、華麗な技を繰り広げるトランポリン。今回は、世界大会の最終予選を目前にして、出場選手の調整に余念がない大館ジュニアクラブをご紹介します。国道7号沿いにある釈迦内の練習場で、代表指導者の佐々木孝蔵さんからお話を伺いました。

#### 宙に浮くのが一番の魅力

クラブに来てる子は、幼児から今年高校へ入った子まで、合わせて二十人ぐらい。比内町からも何人か通っています。四年前から、ここ釈迦内練習場を使っていますが、以前は有浦スポーツ館を利用してたんです。でも思うように練習日を取れない

いもので、専用練習場を設けたというわけなんです。

トランポリンの基本は、常に体を真っすぐに保つこと。バランスをうまくとって連続して跳ぶというのは、結構大変なことなんです。それに、三分間跳び続けると二千回を走ったのと同じぐらいに体力を消耗します。でも、自分の体を空中で自在に操れるというのは、何と一つ一番の魅力です。



目がまわらなげのかな?

今年二十四日から福島市で開催される世界大会国内最終選考会に、クラブから男の子二人と女の子三人が出場できることになっています。世界大会は今年の暮れにニュージーランドで開かれますが、一人でもいいから行ければと思っています。



クラブはいつも和気あいあい (前列中央が佐々木さん)

大会では、いかに難しい種目を美しく続けるか、どれだけ精神的に強いかかがカギになります。

#### いつでも跳べる そんなクラブに

トランポリンというのは、一瞬の判断力、決断力を必要としますし、大会に出ればいつもの仲間も敵同士になります。ですから、楽しくやるのはもちろん、ある程度の厳しさも必要です。今いる子供たちが順調に伸びて、ゆくゆくは指導者になってほしいというのが私たちの夢。大学へ進学したり、お嫁さんになつたりして大館を離れたとしても、いつ帰郷してもここへ来れば跳べる、子供たちに教えてくれる、そんな場としてクラブを続けていきたいですね。

### 新庄発 → 大館着

#### 前略

## 大館市民になりました

13

▽今回は片山町三丁目の佐藤義明さんご一家です。Q・ご家族は何人ですか?

子供はもう独立してますから、今は妻と二人です。迷い込んで来た猫も入れると二人と一匹ですかね。(笑)

Q・どちらから転入されましたか?

山形県新庄市からです。三年二月の十五日に来ました。二人とも出身も新庄です。

Q・大館の印象はいかがでしたか?

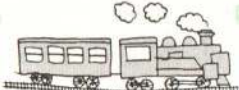
内陸だし、山形と似てる感じがしました。それと観光地に近いこと。弘前の桜、メインランド、十和田湖などいろいろありますからね。あと、市内に温泉がたくさんあるのには驚きました。

Q・言葉や食べ物などでとまどいはありませんか?

私は秋田市にもいたことがありますが、これは妻に答えてもらいますね。「言葉は今九割方分かりますけど、最初は半分ぐらい。大館の言葉はていねいで優しい感じがします。山形のは知らない人が聞いたらケンカしてると思うんじゃないかしら。きりたんぼや比内鶏のくせいはいおしいですね。でも野菜や果物は山形より高いですよ。」

Q・大館にどんなことを望みますか?

道路整備です。運輸という仕事柄ですが、大館は物流基地になり得ると考えているんです。高速道路には近いし、空港もできますから。また、観光地への基点にもなりますね。それと、イベントの際の駐車場確保は必要だと思います。



義明さんと奥さんの笑子さん、そして愛猫のミロさんです